

大牟田市立羽山台小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、福祉教育を中心に据えながらESDを推進している。1年生から6年生まで発達段階に応じながら計画的に福祉教育を継続し、住みよい社会をつくるために思いやりや助け合いの心を持つ子どもの育成をめざし、主に生活科や総合的な学習の時間において実践している。

また、思いやりや助け合いの心を発揮する対象を人だけではなく、ものやことにも広げることができるように環境教育にも力を入れて実践している。更に今年度は、国語教育との関連を図った実践を6学年で取り入れた。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<プロジェクト名「羽山っ子だけかのためにプロジェクト」>

- (1) 1年生「むかしからのあそびをしよう」(生活科 1月)
【ESDで重視する能力態度】⑥つながりを尊重する態度
- (2) 2年生「おれいの気持ちをつたえよう」(生活科 2月)
【ESDで重視する能力態度】⑥つながりを尊重する態度
- (3) 3年生「よりよい暮らしについて考えよう」(総合的な学習の時間 10月)
【ESDで重視する能力態度】⑤他者と協力する態度
- (4) 4年生「守れ！21世紀の大牟田」(総合的な学習の時間 5月～7月)
【ESDで重視する能力態度】②未来を予測して計画を立てる力
【ESDで重視する能力態度】③多面的、総合的に考える力
- (5) 5年生「探検しよう『みんなの地球』」(総合的な学習の時間 10月～12月)
【ESDで重視する能力態度】②未来を予測して計画を立てる力
- (6) 6年生「心のふれあい、伝えあい」(総合的な学習の時間 10～11月)
【ESDで重視する能力態度】④コミュニケーションを行う力
「町の幸福論」(国語科・総合的な学習の時間 10月～12月)
【ESDで重視する能力態度】②未来を予測して計画を立てる力
- (7) 全学年「ESD展示会」(1月)
【ESDで重視する能力態度】③多面的、総合的に考える力

3 特徴的な活動事例

<6年生「町の幸福論」(国語科・総合的な学習の時間10月～12月)>

- (1) 目標
 - ①自分達の町の未来に関心を持ち、教材文や本、資料を進んで調べ、その内容を意欲的に伝えようとする態度を育てる。
 - ②目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話したり、話し手の考えを理解し、自分の意見と比べたりしながら聞くことができるようにする。
 - ③未来の大牟田につながるように、自分達で考えた羽山台校区のよさをまとめ、プレゼンテーションソフトを使って地域に伝えることができるようにする。
- (2) 実践の展開
 - ①地域の願いや思いを知るための情報収集



・民生委員の方々を招いて、地域の活動の様子を聞き、以下のような地域の課題や住民の思いを捉えることができた。

◇春まつりにお爺ちゃんやお婆ちゃんの参加が少ない。

◇地域行事に子供の参加が少ないので、友達同士、参加を呼びかけてほしい。

◇草木八幡さんのお化け屋敷などのイベントは、大人中心でやっているのので、子どももスタッフになって活躍してほしい。

②課題解決に向けたグループで考えた提案内容

・子ども達は課題を捉え、「羽山台校区のよさを生かし、人と人がつながり合える活気のある町にしよう」という目的から、以下のような提案内容を考え、地域の方や保護者へ発信した。

「草木八幡さんのお化け屋敷などのイベントをもっとにぎやかにして、多くの人がつながり合う羽山台校区」

⇒私たちの提案① ・お化け役や受付などを子ども達でする。

・地域の方とたくさんの人が集まるイベントについて話し合う。

⇒私たちの提案② ・お化け屋敷のことを多くの人に知らせるためにポスターを貼りに行ったり、招待状を書いて渡す。

「草木八幡神社の公園を通して、多くの人がつながり合う町」

⇒私たちの提案① ・美化活動の日を決める。 ・遊具の塗り替えをする。

・街灯をつける。

⇒私たちの提案② ・草木八幡神社での行事に参加する。

(夏祭り・秋祭り・盆踊り・ファッションショー)

「地域の運動会を通して、多くの人がつながり合う町」

⇒私たちの提案① ・運動会のスタッフとして、子ども達も手伝う。

・子どもとお年寄りが一緒にできる競技をつくる。

⇒私たちの提案② ・日頃からあいさつや声かけをする。

・招待状を書き、誘い合って参加する。



4 本年度の成果と課題

○成果

・子どもたちに高齢者の方や体に障がいがある方、また幼い子どもに対する思いやりの心が育ってきた。また、相手や対象を意識して、どのような計画や行動をとればよいのかをしっかりと考えるようになってきた。

・課題を自分なりに捉えて、友達と協力して課題追求を行い、自分の思いを他者に伝えようとする意欲や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育ってきた。

加し、自分にできることとして実際に行動化できた。

・「大牟田市ユネスコスクールの日」制定記念の一環として開催したユネスコスクール集会により、子ども達は各学年のE S Dの取組を具体的に知ることができた。また、「E S Dとは何か」を分かりやすい言葉で理解することができた。

○課題

・本校における福祉教育・環境教育を中心としたE S Dの取組は、何より継続が大切であるとの考えから、毎年着実に取り組んでいくようにするとともに、各学年の発達段階に応じながら内容を系統立て取り組む必要がある。

・また、羽山台校区の教育資源を洗い出し、教科等横断的な学習の視点から主として国語教育との関連化を図り、内容面と方法面を明確にしてから教材開発を行っていく必要がある。